



島教協

《 すべては「子供たちのために」 》

# 情報

http://  
www.kyougikai.org

E-mail  
office@kyougikai.org

〒693-0011 出雲市大津町2214 Tel/Fax:0853(22)7762 代表者 安達利幸 編集人 石原康博 No.596

## 教育研究全国大会 宮崎大会

### 東国原知事にフラッシュの連続



挨拶をする東国原知事

は、来賓として自由民主党 中山成彬 衆議院議員、公明党 弘友和夫 参議院議員、東国原英夫 宮崎県知事らが臨席され、知事が挨拶に立たれると会場からたくさんの方々がフラッシュがたかれた。「まあ、どこへ行ってもこんな感じですよ。今日お越しの皆さんは、先生方だと聞いていたのでそういうことも少ないかなと思いましたが、そういうわけではないんですね。どうぞどうぞ。」と笑顔で挨拶をされた。

記念講演が行われた。開会行事に

八月二日(土)、三日(日)、宮崎県のワールドコンベンションセンター・サミットにて、全国教育研究大会が開催された。島教協からは、出雲市立河南中学校若松分校の岡本美由紀教諭が、特別支援教育について提案発表を行った。



がっちり握手をする宮教研連の藤崎会長と香教連の田中委員長

閉会行事では、香川県教職員連盟の田中秀年委員長が、お遍路さんに扮して、「八百軒のうどん屋があります。全国の会員の皆さんのお越しをお待ちしています」と、来年の開催県であることを強くアピールした。

### 記念講演 鍛山親方

八月三日(日)の記念講演は、元・関脇 寺尾の鍛山親方が、「本気で向き合う、くいつも全力、いつも真剣。厳しさは愛情」という演題で熱弁をふるった。



鍛山親方

小学生のとき、父である親方から「お相撲さんのお陰で生活できているから、これからはお相撲さんの食べた残りを食べる」というように言われたことや、中学生の時にいじめっ子に勝ったことで大きな転換期を迎えたこと。母親の死をきっかけに相撲界に入ったことなどを語った。

たことや、「母親に相撲界に入れてもらって、子供に引退を決めてもらった」と当時をふり返りながらエピソードを交えて語られた。

また、現在親方である自分が心がけていることとして、預かった人は自分の子供と同じである。だから、子供に本気で叱る。そして、だから怒るのはやめると、教職員である我々に通じる話で最後をまとめられた。

引退の時の話では、「いろいろな人に支えられてやっていく」のだと感じ

# 特別支援教育分科会 発表報告

八月二日(土)、教育研究全国大会の特別支援教育分科会で、島根県の代表として、出雲市立河南中学校若松分校の岡本美由紀教諭が提案発表を行った。



提案発表する岡本教諭

## 一人一人の教育的ニーズをとらえるアセスメント

特別支援教育分科会では、今回三つの提案発表が行われた。岡本教諭のほかにも、大分県立芸術緑丘高等学校の添田教諭が、「県立別府養護学校における重症心身障害児の緊急時対応マニュアルについて」、栃木県下野市立吉田西小学校の伊藤教諭と大田原市立西原小学校の黒田教諭が、「コーディネーターに求められる専門性と専任であることの大切さ」をそれぞれ発表した。

特に、栃木の発表は県内五百校のアンケートをもとにコーディネーターに関して三つの提案がなされた。一つは、校内支援体制充実のための認知度向上の重要性、一つは、専門性向上のための研修充実の重要性、一つは、支援策を共有する時間確保のための専任であることの必要性である。これらのことは、島根県でもいえることである。関係機関との連絡・調整が主な仕事ではあるが、校内の教職員からたくさんの方々が相談が寄せられ、しかも今すぐアドバイスが欲しいということが多いため、コーディネーターは多忙を極めている。こうしたことは、学校訪問でも多く聞いているため、これまで同様、要望活動に活かしていく考えである。

### 【岡本教諭の発表】

若松分校では、アセスメントから個別の指導計画までを盛り込んだ「SCHOO L RECORD」を作成し、個別の支援に役立てている。その中で教職員が特に大切にしているのが、その作成の過程で深まってくる「子供理解」であり、「人垣」と呼んでいる、子供を取り巻く人々の連携と協力である。発表は、「SCHOO L RECORD」作成の方法、アセスメントの方法を中心に、他との連携の形についても行われた。今後の課題は、現在「退院後につながる支援の方法」として進路を含めた移行支援計画について模索中であるとのことであった。

## 《 第二回 教育講演会のご案内 》

日 時 九月二十日(土) 十三時三十分より 別紙参照  
場 所 益田人權センター(あすなる館)  
演 講 師 平山 諭氏(倉敷市立短期大学教授)  
演 題 「ADHD・PPD症状に対応する授業スキル  
脳科学を活用した」

皆様の注目の  
県西部!

### 紹介文 受付中

「学校紹介文」をFAXで随時受け付けています。学校・地域の紹介、研究発表・実践紹介などを掲載し、現場の様子、会員の皆様の様子を伝えていきます。より多くの現場の様子を伝えるためにも、ご協力をお願いいたします。



### 出雲市立第一中学校

出雲市立第一中学校は、全校生徒651名の学校で、「自立・敬愛・剛健」という校訓のもと、生徒は勉強も部活動もがんばっています。なんといっても、目立つのが、上下真っ青なジャージですが、子どもたちはこれを「青タイ」と称し、とても愛着をもちながらこなしています。

